

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		環境保全総合事務		担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40111	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	3	人と自然にやさしいまちづくり		根拠法令 個別計画等	深谷市蜂の巣駆除用防護服貸出要綱（平成23年度から）				
	小項目	2	環境衛生の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		本事業は、市内（市民が居住する住宅やその敷地）に営巣された人に危害を及ぼす恐れのあるスズメバチの巣を、市の登録駆除業者に委託して駆除された方へ補助金を交付するものである。また、自ら巣の駆除を希望される方へは、防護服の貸し出しを行うものである。								
目的 ※何のために		ハチ（主にスズメバチ）による被害を未然に防ぐ。								
対象 ※誰・何を対象に		市民及び市内に住所を有する団体								
手段 ※どのように		スズメバチの巣を市の登録駆除業者に委託して駆除した方へ補助金を交付する。（平成30年度から開始）								
成果 ※何を求めるか		市民等の安全かつ快適な生活づくりの一助となる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
		一般会計	4	衛生費	1	保健衛生費	3	生活環境衛生費	衛生害虫駆除事業	434,000
本事業の 主な業務		・スズメバチ駆除費補助金の交付							・	
		・スズメバチ等の巣駆除業者の紹介							・	
		・スズメバチ等の巣駆除用防護服の貸出し							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	796,000	754,000	804,000	791,000		
	決算額	783,198	434,000	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
人件費	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	783,198	434,000	804,000	791,000		
	総事業費試算	4,664,156	4,368,779	4,902,194	4,889,194		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	ハチ駆除用防護服貸出件数	目標値	件							
		実績値		37.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		貸出件数は予測できないため、目標値の設定はできない。 / 防護服貸出簿							
	実績値の算出式									
成果指標 1	スズメバチ駆除費補助金の交付件数	目標値	件							
		実績値		65.00						
	目標値の算定根拠/実績値の出所		当該事業は、平成30年度より開始し、実績がないため、目標値の設定はできない。 / 当該年度交付件数							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	市民から蜂に関する相談が222件あり、うち指定駆除業者へ依頼し駆除を行った方65件へは補助金の交付を行い、また自ら駆除を希望する方37件には、防護服を貸し出す対応を実施した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	補助金の交付件数は65件で平成30年度の補助金交付開始時から最も少なかった。 相談件数は前年とほぼ同件数のため、蜂の発生件数は前年並みであったが、スズメバチの発生件数が少なかったものと考えられる。防護服は蜂の種類を問わず貸出ししているため蜂に対する対策は有効であると考えられる。
			評価者 係長 木村 明人

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	防護服の貸出予約方法についてオンライン化を検討中である。借用者は来庁しなければならないが受付事務が簡素化できる。
			評価者 係長 木村 明人

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	スズメバチの巣の駆除に対する補助件数は、年々増加傾向にあるが、予算の範囲内で賄えている。 現状のまま継続し事務を進める。
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	環境保全総合事務	担当課	環境衛生課	担当係	環境衛生係	管理番号	40111
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		令和4年度は例年と比較すると駆除件数は少なかったが、スズメバチの巣の駆除をしていただいた市民に対し適正に補助金を交付することが出来ている。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 加藤 昇				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	スズメバチの巣の駆除に対する補助件数は、その年の蜂の発生状況により左右されるが、予算の範囲内で賄えている。現状のまま継続し事務を進める。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	スズメバチの巣の駆除に対する補助件数は、その年の蜂の発生状況により左右されるが、予算の範囲内で賄えている。現状のまま継続し事務を進める。

8. 評価指標グラフ

